

人吉地区 保護司会だより

第12号

人吉地区保護司会の第二期定例研修会が、令和6年12月20日に錦町総合福祉センターにて開催されました。

テーマは、「面接技法（初回面接）」について、熊本保護観察所八代駐在官事務所 草野桂一主任官より講和がありました。

内容としては、保護観察は「面接に始まり面接に終わる」と言われているように、面接を行うにあたって最も大切な、話を聴く技術や姿勢、保護観察の趣旨や仕組みの理解を深める必要性がある事やDVD視聴により対象者等の信頼関係構築力の重要性を改めて理解し、習得することの大切さを学びました。

言葉は言葉と言われますように日々の生活の中での会話や言葉、話し方の大事さを今回の研修を通して再認識する事ができました。

定例研修「初回面接技法」を学ぶ

犯罪予防部会

人吉地区保護司会犯罪予防部会では、隔月の年金支給日に、人吉警察署生活安全課の依頼により、担当の保護司にお願いし、金融機関の玄関にて防犯グッズを手渡ししながら「振込詐欺にご注意ください。」と呼びかけの防犯キャンペーンを実施しております。

現在のところ、被害者はいないとの事です。



「保護司会視察研修」を開催

令和6年10月25、26日、人吉地区保護司会の保護司18名が参加して泊研修を実施しました。

初日は「長崎刑務所」（所在地：諫早市）を訪問し研修を受けました。

「長崎刑務所」は、明治14年9月（143年前）に建設された未決監施設に、翌年既決監施設が転入してきて「長崎監獄」と改称され、大正11年10月に「長崎刑務所」と改称されました。

現在の建物は、平成4年7月に新築・移転して開庁されたものだそうです。

受刑者の特徴としては、主に26歳以上の男子のうち①執行刑期10年未満の者 ②累犯者 ③外国人を収容しているそうです。

収容者数は平成16年の993名が最大で、研修当日はピーク時の半分に減っているそうです。

管理棟において施設の概要説明を受けた後、建物を見学させていただきました。

受刑者は、刑務作業の時間だったので居住区域は無人でしたが、職業訓練棟では作業室内に入って、受刑者のすぐ横で作業内容を見る事が出来ました。

見学を終えて管理棟に戻り、質疑応答の時間を戴いて研修を修了しました。

帰り際、玄関ホールに展示されている受刑者制作の作品を購入させて頂きました。

翌日は、「出島」と「軍艦島ミュージアム」で歴史と世界遺産の世界に浸ることが出来、充実した二日間の研修を終えて帰路につきました。



山江中学校にて

講演会開催

山江中学校PTA家庭教育委員会（嶋村恵理香委員長）主催により、令和6年12月16日、山江中学校（中野浩二校長）の全生徒を対象に、犯罪を犯した人の社会復帰を支援する人とのつながりなどを学び、犯罪防止に理解を深めてもらうため講演会が開催されました。

午後2時半から同校体育館で、まず初めにビデオによる啓発動画観賞の後、人吉地区保護司会（宮田光秋会長）会員の西孝恒保護司が「闇バイト」に関わらないようにと話されました。続いて前田裕久雄保護司が「自転車運転違反」も犯罪になるので、ルールを守り自分の命を守るよう講話、最後に人吉地区保護司会の宮田会長が、自分の経験を基に話をされ、「根は真面目な子」でも「一瞬の判断の誤りで、誰でも犯罪者になり得るという事、それでも支えてくれる人がいることを忘れないでください」と呼びかけた。



生徒を代表し、3年生の森口拳心朗君が、「保護司について知る機会となりました」と謝辞を述べ花束をいただきて終了となりました。

社会を 明るくする運動

「社会を明るくする運動」の作文コンテストに入賞された方おめでとうございます。今年度の作文コンテストでは、人吉球磨の小学校より947点、中学校より357点の応募をいただきました。小中学校のみなさまにはご協力ありがとうございました。この中から深田小学校6年生の山之内七奈さんの作品が、県小学校長会・会長賞を受賞されました。

作文を拝読すると犯罪や非行、地域社会において、また自分の考え・意見・感じたことなどこれから私たち保護司への沢山の課題をいただきました。みなさま方と協力しながら活動していくことの大切さをあらためて感じました。

新任保護司の紹介

よろしくお願いします。

令和6年度、新たに次の方が人吉地区保護司会に任命されました。

北澤 茂弘 (人吉市)

谷崎さとみ (人吉市)

保護司会退任挨拶

【石田 信之】

私こと石田信之は、来る3月6日をもって保護司の職を終えることとなりました。

昨今のニュースに耳を傾けると、相変わらず残忍な通り魔的事件や詐欺事件などが後を絶ちません。

私たちは、不幸にも犯罪に手を染めてしまった人達の立ち直りに寄り添ってきました。この人たちが未来永劫再犯を起こさない人生を送ってほしいものです。

先生方よりお受けしたご厚情に深く感謝申し上げます。

皆様方のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

【山口 敏章】

保護司を拝命して15年、その間担当した対象者は2名でしたが、最初の方は短期の対象者で観察所からの連絡が来る前に本人とその両親が挨拶に来られた事もありました。

保護司会ではサポートセンターや広報委員会に携わることができました。また、いろいろな業種を経験された会員からの経験談やご指導は、私が生きる道筋を得たような気持ちにさせる保護司

会であつたような気がします。今は感謝しかありません。ありがとうございました。

【藏座 貴子】

私が保護司に着任しましたのは、平成24年主人の逝去の後任としてでした。

この間担当した対象者の面接をはじめ、少年院・刑務所の訪問その他各委員会に参加させて頂きました。社会を明るくする運動の作文募集依頼や朝のあいさつ運動を通じて、学校との相互の理解を深めることが出来ました。

ここ数年は、コロナ・インフルエンザ感染猛威と終息もない中、令和2年7月の人吉豪雨水害と大きな被害を受けて、未だに復旧も出来ずいらつしやる方も多く大変な時代ですが、保護司の方の地道な活動で苦勞が多いと思います。

13年間という年月のなか、沢山のことを勉強・体験させて頂き、色々な方と交流を持つ事ができて、本当に勉強になりました。ありがとうございました。

退任しましたが、これからもよろしくご指導の程お願い致します。

令和6年度 全国保護司連盟表彰者紹介

春藍綬褒章	相良村	紫案まさ子
法務大臣賞	水上村	山中美智代
委員長表彰	人吉市	藏座 貴子
委員長表彰	球磨村	日隠 啓一
委員長表彰	あさぎり町	住本 壽司
委員長表彰	山江村	前田裕久雄
所長表彰	あさぎり町	遠山 好勝
所長表彰	あさぎり町	山口 尊生
県保連会長表彰	錦 町	岡田 武志
県保連会長表彰	人吉市	豊永 貞夫
県保連会長表彰	湯前町	吉田 精二
県保連会長表彰	錦 町	早田 和彦



今年も「社会を明るくする運動」の一環として募集した作文コンテストでは、球磨郡市の多くの小・中学生が「犯罪や非行のない地域社会づくり」を真剣に考え、素晴らしい作品を寄せてくれました。中でも熊本市小学校長会会長賞を受賞した作品は、「子どもたちの居場所づくり」を、子ども視点と深い思いが込められており、多くの方に読んでいただきたい内容です。

また、防犯キャンペーンでは、犯罪や非行防止に向けた啓発運動を実施しました。地域の防犯意識を高め、安全で安心なまちづくりを勧めることの大切さを改めて実感しました。

保護司の日々の活動は、更生支援や地域の安全に欠かせない役割を果たしていることを多くの方に知っていただければ幸いです。

今後も、一人ひとりの意識と行動が「社会を明るくする」第一歩となるよう、私たち保護司も広報活動に努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

広報委員一同

人吉地区更正保護サポートセンター

〒868-0302 球磨郡錦町一武 1587-1

「農村婦人の家」内 人吉地区保護司会

基本的に、毎週月曜日から金曜日の午前9時30分から午後3時30分まで、当番保護司が職務に当たります。但し、必要な場合は上記時間以外にも開所します。